

# さんむ景観通信

第5号

平成26年3月発行

山武市では、平成25年12月1日（日）に千葉県と共催で、地域の宝“九十九里浜”の景観について考えるきっかけとして、“景観セミナーin 九十九里浜”を開催しました。

また、昨年度より開催している“景観ワイワイ広場”では、平成26年2月9日（日）に行われた、さんむ市民活動フェスタの中で、山武市の景観に対する想いや、景観づくり活動についてのフリートークや、「景観」パネルの展示、アンケートを実施し、たくさんの方にお越しいただきました。

## 景観セミナーin 九十九里浜の概要

これまでの海岸と人々の関わりを振り返りながら、地域の宝をどのように未来へつないでいくかを考える機会として「ウォーキング+海岸清掃」の体験型イベントとセミナーを開催しました。

【開催日】：平成25年12月1日（日）

### <第一部>：海岸清掃

【時間】：10：30～12：00

【会場】：蓮沼海岸

【参加者】：49名

海岸清掃をした結果、  
139袋分のゴミが  
集まりました！



### <第二部>：セミナー

【時間】：13：30～16：00

【会場】：蓮沼ガーデンハウスマリーノ

【参加者】：78名

【内容】：◆基調講演

⇒講師：北原理雄氏（千葉大学名誉教授）

◆パネルディスカッション

⇒コーディネーター：北原理雄氏

⇒パネリスト：田邊孝雄氏（山武市観光協会顧問）

稗田忠弘氏（さんむフォレスト代表）

福田百合氏（一財）都市みらい推進機構 UIT 事務局

秋葉秀央氏（NPO 法 TINA、コレカラ 99 代表）



パネルディスカッションの様子



さん  
SUN ムシくん

## 基調講演：九十九里浜の景観 守り 育て つなぐ

基調講演では、千葉大学名誉教授の北原理雄氏をお招きし、「九十九里浜の景観 守り 育て 後世につなぐ」をテーマに、景観について、お話していただきました。



目に見えるもの、見えないものも含めて、景観を見ることによって、地域の健康状態がわかってくる。

また、景観に注意を払っていくと、地域の宝が見えてくる。その宝物を守り、育て後世へ伝えていくためには、地域と暮らしとの結びつきをきちんと、もう一度組み立てなおしていく必要がある。そのためには、個々の地域だけではなく、いろんな地域や活動している人たちのネットワークを組み立て、大きな力としていくことが大切になる。

## パネルディスカッションでの意見の紹介

パネルディスカッションでは、各パネリストの活動紹介や、「活動するにあたり、困っていること、一緒に考えて欲しいこと」など景観づくり活動に関する事について様々な視点で意見交換をしてもらいました。

### <活動するにあたり、困っていること、一緒に考えて欲しいこと>

- ◆海岸植物が育つように一生懸命努力しているにも関わらず、その上を歩いたりする心無い人がいる。活動していることを理解して欲しいと思う。（田邊氏）
- ◆若い人のイベントと自治体主催のイベントとでどうしても分かれてしまう。みんなで一緒にできれば良いと感じる。（秋葉氏）
- ◆環境を守るために海に人を入れられないという視点だけではなく、来る人を迎え入れ、一緒に楽しむことも大切だと思う。九十九里浜はものすごい価値を持っている。人を入れられないのではなく、車の乗り入れを止めるのに有効な手段を考えたり、統一感のある看板を出すなど、一流の海とすることに加え、迎え入れる我々も一流で臨んでほしい。（稗田氏）
- ◆九十九里海岸は広々としていて、気持ちが安らぎ、五感で楽しめる場所である。そして「九十九里海岸」と「山武杉のある里山」のどちらの自然の豊かさにも楽しめる贅沢な地域。この地域の良さは恵まれた自然と人の営みがセットになっていることだと思う。他には無い魅力が沢山あることをもっと自慢（PR）して良いと思う。（福田氏）

### <活動の最終目的は何か？横の連携をどう生み出すか？>

- ◆美化活動後のきれいな景観を見て、手伝ってくれる若い人たち自身が、自分がやったんだと実感している。こういうことを後世に伝えていかなければと思う。また、海岸に多くの車が入り、ゴミがたくさん出るのをどうしたら良いかを考えている。門戸を広げて多くの人との横の連携ができることで、いろんなことを進めやすくなると思う。（田邊氏）



- ◆地域に住んでいる人たちが自分たちの持っている良いものをしっかり自覚して、それを十分に楽しみながら生きていく地域が作れば、後から観光が付いてくるのではないかと思う。50年、100年先の人が来てくれるような地域にすることが観光ではないかと思う。そういう意味で、山武杉をたくさん使って、山武市民がとても恵まれていると思ってもらえるような暮らし方をすべきだと思う。（稗田氏）

- ◆自分たちが地域に魅力を感じなければ外の人達が魅力を感じるわけがない。海岸のごみ拾いを通して環境や景観について改めて考えることができる。日々の個人活動を、九十九里全域に広げて展開することができれば、広域的に自然景観が守られ地域の活性化にもつながっていくと思う。市町村の枠を超えてさまざまな立場の方とともに仕組みづくりや魅力（ひと、もの、こと）を体験できる機会を作っていきたい。（福田氏）



- ◆まずは、地元の住民が海に触れ、海を感じる事が重要だと思って活動している。海の祭典や海育関連事業を、活動団体や自治体が一緒に集まってPRができればと思う。その中で、悪い所を元どおりにするだけでは続かないため、その場所を良いものとして感じ取ってもらえる何かをしていかなければならない。その仕立ては民間でないとできないのかなと思う。（秋葉氏）

# 第5回景観ワイワイ広場の概要

@さんむ市民活動フェスタ

## さんむ市民活動フェスタとは・・・？

さんむ市民活動フェスタは、「知りあおう・つながろう・活かし合おう」をテーマに、市民活動団体が集まって作りあげる「市民活動の祭典」です。今回の景観ワイワイ広場はその中に場所を設け、実施しました。



【開催日】：平成 26 年 2 月 9 日（日）

【会 場】：成東文化会館のぎくプラザ エントランスホール

### <“景観づくり活動”についてのフリートーク>

【時 間】：13：30～14：30

【参加者】：10 名 ⇒コーディネーター：中谷正人氏（千葉大学客員教授）

【テーマ】：「身近な景観づくり活動を知ろう！どんな活動ができるのか話し合おう！」

### <展示開催内容>

【時 間】：10：00～15：00

【内 容】：◆「景観」パネルの展示

⇒「景観」って何？、これまでの取り組み紹介

◆アンケート

⇒「あなたのおすすめ景観スポットを教えてください」



「景観」パネル



アンケートの様子



フリートークの様子

アンケートにお答え  
いただいた方へ好きな  
景観ポストカード※を  
プレゼントしました！

※さんむの魅力  
フォトコンテスト入賞作品



# アンケート結果の紹介

アンケートでは、皆様の「おすすめ景観スポット」について、どこから、どこを見る“眺め”が良いと思うか、教えていただきました！その一部をご紹介します。

## <アンケート意見結果概要>

木戸川付近から見える富士山の眺め／九十九里の浜辺から海を見る眺め／成東城跡公園からの眺望／日向駅から桜を見る眺め／日向ニュータウン西側のひらけた所から南の村落、夕方焼け、星空／蓮沼海浜公園の展望台から見る海／富田駒形神社から見た市内／武射旧跡から作田川上流方向の眺め／成東駅ホーム（一番北側）から、北側をながめる風景／浪切不動院から九十九里浜を望む眺め／椎崎の八幡様の脇の日向台の眺め／昭和橋越しに見る浪切不動尊／善兵衛公園の先の忠魂碑から見る町の方の眺め／さんむ医療センター4Fより見る360°の風景／光明寺から見る九十九里浜／作田川の鍛冶橋に向かって西の空の夕日／作田川の昭和橋から上流に向かって5mほどの所で左岸から浪切不動を見る時、本堂（岩の上）が水面にうつって見える（逆さ浪切不動）／国道から見える浪切不動院／作田川から見た石塚の森／鍛冶橋から西側をながめる風景／田んぼの中に見える大富小学校 など

# フリートークで出た意見をまとめました！

## 【景観づくり活動についてのフリートーク】

### <フリートーク意見のまとめ>

- ・景観づくりは、「自然景観」を活かしていくことと、地元を守ろうとする努力、マナー、親切心などの「人間景観」を育てていくことが求められる。その中で、活動団体間の交流はもちろん、子どもが地域の事を知る機会となるような、世代間交流が重要になってくる。
- ・景観づくりのやり方も様々で、「向こう三軒両隣」の考え方で、まずはひとりひとりが動くことが大切である。そうした中で、自分達の地域は自分達で綺麗にしていこうという「住民自治」の考え方にもつながってくるのではないかな。
- ・さらに景観の良さを後世に繋いでいくためには、資源の歴史等、物語性が一緒になっていないと、人々は興味を持たない。そうした物語性と併せて、詩や俳句、または景観マップなど、“言葉”で伝えていくことで、景観の価値が共有され、広まっていくのではないかな。

